

## 《高校生議会特集》



質問議員	質問内容
1 遠藤	防火対策について
2 甚野	若者の楽しめる場所について
3 亀田	商業施設の活用について
4 中山	町内の公園や施設の整備について
5 大澤	①歩道の除雪について ②信号機の設置について
6 飯野	①サンタランドのイルミネーションの増色について ②メタンハイドレートの活用について
7 小山内	観光を中心とした街づくりについて
8 糸井	町内の街灯の少なさについて

広尾町議会をクリック！

当日の録画中継を広尾町のホームページから見ることが出来ます。

2月10日に「高校生議会」を開催。今回は広尾高校第1学年が8つの班に分かれて町に対する質問や意見を考え、各班の代表者8名が登壇し、一般質問形式で町長に問いました。そのほかの生徒は議会の緊張した空気の中で傍聴しました。また、今回初めて議事の進行を行う議長を高校生の小松紗菜さんが務めました。ここでは、当日の一般質問の内容を抜粋、要約して掲載しています。

### 2. 甚野元泰議員 若者の楽しめる場所について

**質問** 最近の町内の遊ぶことが多い。町内での遊ぶ場所は、スーパーマーケットのゲームコーナーやカラオケ店のみであり、若者が都市部に流出してしまう原因であると思う。若者が地域に定着し、町内の経済の活気を取り戻すために、娯楽施設を誘致するべきと思うがどうか。

**答弁** 第6次広尾町まちづくり推進総合計画に、「広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出」を盛り込む予定である。地域資源を生かした体験型観光やサンタランドの内容の充実など、若者の興味を引くような取り組みを町民の皆さんから立案していただき、民間主導で実現していきたい。その際に空き店舗等を活用するのであれば、助成制度を設けて行政も支援したいと考える。

### 1. 遠藤奈々議員 防火対策について

**質問** 平成29年から町内の火災発生件数が増加している。火災を減らすために町はどのような活動を行っているのか。また、その活動を多くの町民に知ってもらうためにどのような取り組みをしているのか。さらに、延焼による被害拡大を防ぐために、防火対策と併せて空き家対策を行ってはどうか。

**答弁** 広尾消防署と連携して火災発生時の経緯を検証しているが、住民一人ひとりが火災予防の意識をもつことが一番重要であり、広報等による周知や町内会等での防火講習を継続し、防火意識の高揚を推進していく。また、住宅用火災警報器の設置もさらなる拡充を図り、町の購入助成・無償貸与制度の活用にも努めたい。空き家対策については、空き家バンクを活用していく。

4. 中山翔太議員 町内の公園や施設の整備について

**質問** 新丸山都市公園や大丸山森林公園は、整備後30〜40年以上経過し、老朽化が目立つ。危険なところや、一部使用できない施設があり、がっかりして帰る町外の人もいます。早急に改修をすれば、さらに集客を図れるのでは。

また、三万里の長城も使用不可となっているが、改修する計画はないのか。

**答弁** 年2回点検をしているが、引き続き危険のないよう点検・修理をしていく。大丸山森林公園は、国や道の補助を受けながら整備してきたが、つり橋と万里の長城はかなり以前から安全上の問題で使用不可としている。町は、撤去も含めて改修整備を検討しているが、多額なお金がかかり手をかけられずにいる。今後、利用者の安全を第一優先し管理していく。



6. 飯野晴翔議員 ①サンタランドのイルミネーションの増色について

**質問** 今の色は、青や白の寒色系が多く単調である。赤やオレンジなどの暖色系を増やしてサンタランドに温かみを出してみているか。カラフルになると、インスタ映えして若者受けがよくなり、観光客が増えるのではないかと。また、町内にもカラフルなイルミネーションを設置して、観光資源としてはどうか。

**答弁** 増色については、赤や黄色などが良いという意見と、青と白を基調としたシックな雰囲気が良いというさまざまな意見がある。ここ数年は、点滅するものから常時点灯して落ち着いた青や白のものに更新している。スポット的にインスタ映えするところをつくる取り組みは町民の意見を取り入れたい。また、来年度はサンタゲートのイルミネーションの更新を予定している。

3. 亀田 紬議員 商業施設の活用について

**質問** 町内には子どもが交流の場が少ない。空き店舗等にテーブルと椅子を置くだけで子どもたちの居場所が確保されると思う。また、商業施設が散見し、交通手段の少ない子どもや高齢者は買い物に困難であるため、中心部に商業施設を誘致したり、市街地にサンタランドのアンテナショップを設置してはどうか。

**答弁** 現在、空き店舗等の増加が課題となっている。利用可能な空き家等をリフォームし、飲食ができるサロンなどの拠点施設を創設することを目指し、交流人口の増加と町民の交流の機会の充実を図る方策を町民と一緒に考えていきたい。また、商業施設を中心部に誘致するには、商工会なども含め、町民の意見を聞きながら課題解決に向けて取り組むべきものと思う。

5. 大澤明日花議員 ①歩道の除雪について

**質問** 降雪時、早朝から車道と歩道が除雪されているが、歩道の除雪が間に合わないとき、除雪が済んだ車道を歩いている人を目にする。歩道の除雪が間に合わない原因の一つに歩道専用の除雪車両が不足しているからではないか。車道を歩く行為は大変危険であるため、歩行者への啓蒙も含めた対策をしては。

**答弁** 深夜2時から除雪を開始し、通勤・通学時間に間に合うよう実施している。歩道専用の除雪車両を増やせば、より短時間で除雪できるが、安全対策と費用のバランスを考慮して判断しなければならぬ。今後も、住民生活に支障のないよう除雪を行う。また、歩行者への啓蒙活動としては、広報や防災無線などを通じて、車道を歩くことは危険だという周知をしていく。

5. 大澤明日花議員 ②信号機の設置について

**質問** 信号機の設置には、道路交差法の関係から公安委員会などの調査、審査などが必要と聞いているが、設置の条件はどのような内容か。また、町民からの設置要望は、どのように取り扱っているか。歩行者の安全を守るため、信号機の増設が必要と思うが、今後どのように進めていくのか。

**答弁** 信号機設置には、車道の幅や歩行者の待機場所が確保できること、1時間の自動車往復交通量が原則300台以上等の条件があり、この条件を全て満たす必要がある。町内会等からの要望は多く寄せられており、その都度、広尾警察署と要望箇所を現場で確認し要望書を提出している。今後も広尾町全体で交通安全に対する意識を高め、安全で安心なまちづくりを進めていきたい。



6. 飯野晴翔議員 ②メタンハイドレートの活用について

**質問** メタンハイドレートが将来の発電燃料となれば、日本のエネルギー不足が改善できると思われる。さらに、国内で発電ができるため貿易コストが削減でき、二酸化炭素の排出量も抑えられる。十勝港を抱える町としても、新しい産業の創出につながる期待できるのではないか。

**答弁** メタンハイドレートは、発見以来、埋蔵量や回収方法、経済性など調査研究が進められているが既に20年以上経過し、実用化は想像以上にハードルが高いと言われている。しかし、日本周辺の海底には膨大な埋蔵量があり、十勝沖で産出されればそれに向けた関連の産業化にもなるため、遅れないよう取り組みを進めていきたい。

8. 糸井なつ美議員 町内の街灯の少なさについて

**質問** 広尾町は郊外に行くほど、街灯が少なく感じる。中心地はイルミネーションの明かりがあるが、グリーンパークやシーサイドパークの方は暗く、動物の急な飛び出しなどによる事故や、防犯面でも犯罪に巻き込まれる危険性が高くなる。このような場所はほかにもあると思うが、町長の考えは。

**答弁** 街灯は、住宅や商店などの密集度合いを目安に、通行する歩行者の数が多いほど優先順位を上げて設置している。また、居住者や歩行者が多いところでは、防犯灯としての役割もあり、その面でも効果が高い。歩行者の少ない道路であっても、設置の要望があれば現地を確認して、どの場所にどれくらい必要なのか検討している。今後、安全なまちづくりを進めていく。

7. 小山内将太議員 観光を中心とした街づくりについて

**質問** 広尾町を「観光を中心としたまち」にするためには、新しく町をアピールできるような食についての観光資源を研究し、ふるさと納税の返礼品として活用していくべき。また、ししゃも祭りを開催し、広尾町名物のしゃもツケバーガーやしおサイダーなどを販売し、町外へPRをしてはどうか。

**答弁** ふるさと納税返礼品として、広尾町の特産品である海産物やしおサイダー、カマンベールチーズなど常時100点程度を用意し、広く全国にPRしてきた。町の自然や地場産品を生かした新しい観光資源の研究は今後も一層力を入れて取り組んでいかなければならないものと考えている。ししゃも祭りは町民からも意見があった。商工会とも話し合い、検討する。

## 高校訪問のようす



高校訪問1  
日目の1月21日（火）は、高校生がグループで作成した質問内容の原案をもとに、議員が「質問内容」、「一般質問通告書」、「質問の仕方」等を助言しました。2日目の2月5日（水）は、町側から提出された答弁書に応じて二次質問の内容を助言しました。

# 高校生議会を終えて

## 議長 小松 紗菜さん

すごく緊張しました。私は、人前に立ったり声を張ることがあまり得意ではないので、自分から議長をやると言い出したものの、当日まではとても嫌でした。しかし、やってみて良かったなと思います。今まであまり気にしたことがなかったけれど、広尾町の発展や課題について真剣に話し合い、町長に質問するという機会はなかなかないのでとても良い勉強になりました。



## 高校生議員

### 5. 大澤 明日花さん

今まで班のメンバーとたくさん話し合ったり、読む練習を重ねてきました。しかし、本番で人前に出ると、頭が真っ白になるほど緊張し、「議員さんはこんなに大変なんだな」と思いました。

### 6. 飯野 晴翔さん

今回は、やりたくてもなかなかできない体験をさせていただいたので、この経験を忘れず学校生活などで生かしたいと思いました。

### 7. 小山内 将太さん

発表する時はとても緊張しましたが、自分たちの考えた質問を町長にしっかり言えたので満足しました。大きな舞台に立てて良かったです。この経験をこれからの学校生活に生かしていきたいです。

### 8. 糸井 なつ美さん

高校生議員として初めて出席し、貴重な経験ができて良かったです。とっても緊張しましたが、たくさん練習して成功することができて良かったです。今後の進路にも役立ち、議会に出席したことで何より自信がつかしました。

### 1. 遠藤 奈々さん

1番目ということもあって、すごく緊張しました。思ったことをうまく伝えようとして、失敗したり噛んでしまったけれど、とても良い経験ができました。改めて、議員さんってすごいなと思いました。また、伝えるということの大変さをよく学びました。

### 2. 梶野 元泰さん

班でまとめた意見を議場で話してとても緊張しました。少しだけ噛んでしまったりしたところもありましたが、最後の謝辞は自分でもよく出来ていたと思います。

### 3. 亀田 紬さん

高校生議員として質問するにあたって、自分の町に対する考えをより深め、また広尾町の行政がどのように尽力しているのかを知る機会となりました。これから高校生として何ができるか考えたいです。

### 4. 中山 翔太さん

議場の席に実際に座ることができ、とても良い経験になりました。質問して町長が答弁するという一般質問の進行について知れてよかったです。

## 傍聴者

### きのした はるき 木下 遥暉さん

地方自治の勉強をしたうえでの高校生議会は、とてもいい経験になりました。この経験を生かしてこれからの学校生活や社会に出てからも、いろいろ頑張りたいです。

### きや りいか 木谷 流海さん

日常で考えることのなかった広尾町のことを深く考えることができて良かったです。また、普段入ることがない議場に入って実際に議会に参加できて良かったです。今後も広尾町のことを考えていこうと思いました。

### いまい ゆき 今井 友希さん

議会で普段どのようなことが行われているのかを体感することができ、とても良い機会になりました。私たちの住んでいる町がさまざまな段階を経て、形になっていることもわかり、より一層行政への関心が高まりました。

### きた しおな 喜多 汐那さん

議場に入って見て、普段は体験できない雰囲気にとっても緊張しました。今回の議会を通して広尾町の現状や課題、町の良いところなどを知りました。この機会を大切にし、今後の広尾町について高校生として積極的に考えたいです。

